

たしかな経営のあかし

福岡中央銀行

ミニディスクロージャー誌
第86期 営業の中間ご報告
(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

2006年

平成18年9月期版



も く じ

ごあいさつ 当行の概要	P 1
経営理念・新中期経営計画	P 2
Q & A (当行をより深く知っていただくために)	
Q平成18年9月期の業績はどうだったの？	P 3
Q損益の状況は？	P 5
Q自己資本比率はどのくらいなの？	P 6
Q不良債権の状況は？	P 7
Q財務諸表は？	P 9
Q地域貢献にはどのように取り組んでいるの？	
(本業を通じた地域貢献)	P 11
(地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い)	P 13
(安全・便利なCD・ATM)	P 15
(皆さまのお役に立つために)	P 16
Q紛失・変更手続はどうしたらいいの？	P 17
役員・株式のご案内	P 18

当 行 の 概 要

創 立	昭和26年6月
商 号	株式会社福岡中央銀行 (THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地	福岡市中央区大名二丁目12番1号
資 本 金	25億円
預 金	3,637億円 (譲渡性預金を含む)
貸 出 金	2,879億円
従 業 員	499名 (男性328名、女性171名)
店 舗 数	41店舗 (本支店39・出張所2)
株 式 上 場	福岡証券取引所 (昭和43年3月) (平成18年9月30日現在)



ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行は福岡県内を営業地盤とし、地域社会と共に発展することを経営理念に掲げ、地域金融機関としての使命を果たすと共に、健全経営を貫く銀行として高い評価を得てまいりました。

これもひとえに、皆さま方の永年にわたる暖かいご支援の賜と心から感謝いたしております。

私ども福岡中央銀行は「この街でこいっしょに」の精神のもと、お客さま一人ひとりを大切にする「ハート・ツー・ハート」の金融サービスを力強く推し進め、地域の皆さまからより一層広く、深く愛され親しまれる銀行を目指して努力してまいります。

今後とも、引き続き倍旧のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この小誌が皆さま方に、当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

平成18年12月

取締役頭取 田中克佳

経営理念・新中期経営計画

【経営理念】

福岡県内を営業地盤に「中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、地域の皆さまに親しまれ、信頼される銀行を目指して、「ハート・ツー・ハート」の業務活動を展開し、金融サービスの充実と健全経営、地域社会への貢献に努めています。

【新中期経営計画】

(平成17年4月から平成19年3月まで)

平成17年4月にスタートした2年間の「新中期経営計画」は最終年度を迎えました。

当行が、これまで独自の営業戦略としてきた「ハート・ツー・ハート」のリテール戦略を今一度見直しして、お客さまに軸足を置いた「真の顧客志向のサービス」に徹することによって、お客さまに満足を与え信頼関係を確かなものとし、発展していくことが結果として、地域への貢献につながっていくものと考えております。

また、当行は今年の6月に創立55周年の記念すべき日を迎えました。

日頃からご支援とご愛顧を賜っておりますお客さま、地域の方々、ならびに株主の皆さま方に対して心から感謝すると同時に、健全性・収益性の高い地域金融機関として、更なる飛躍の年にすべく役職員一同総力を結集して全力を尽くしてまいります。

新中期経営計画

“お客さまに選ばれる、「真の顧客サービス」
地域ナンバーワン銀行を目指して”



I. 基本方針

1. お客さまに軸足を置いた、真の顧客サービスを提供いたします。
2. 資産の健全性確保と収益性向上により、お客さまからの信頼を深めるよう努めます。
3. 生産性を高める人の改革と活力ある組織づくりを実現します。

II. 重点課題

1. 顧客サービスの充実
2. 営業基盤の拡大強化
3. 収益基盤の充実強化
4. リスク管理態勢の強化
5. 組織の強化と人づくり

※併せて「金融改革プログラム」を踏まえた地域密着型金融を一層推進して地域貢献に取組み、地域金融機関としての社会的責任を果たしてまいります。



福岡中央銀行 本店



Q 平成18年9月期の業績はどうだったの？

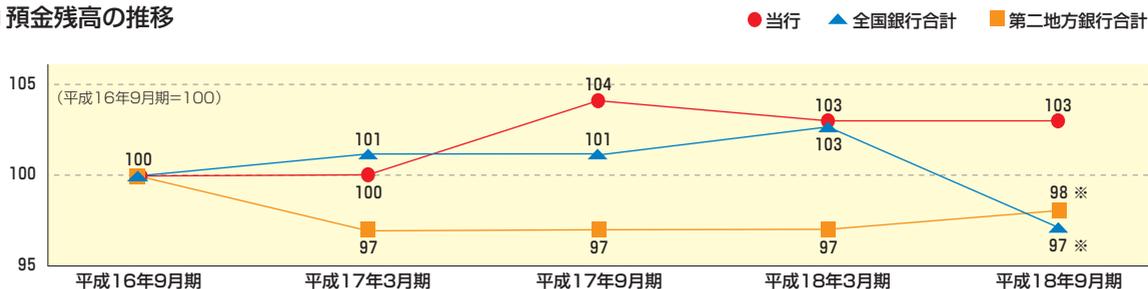
A おかげさまで、預金・預り資産は順調に推移しました。

■ 預金

(譲渡性預金を含む)

預金及び譲渡性預金残高は、3,637億円となりました。

■ 預金残高の推移



● 預金残高

(単位: 億円)

	平成16年9月期	平成17年3月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期
当行	3,523	3,536	3,676	3,636	3,637

※平成18年9月期の全国銀行合計、第二地方銀行合計の預金残高は全国銀行協会による速報値を表示しています。

■ 預り資産

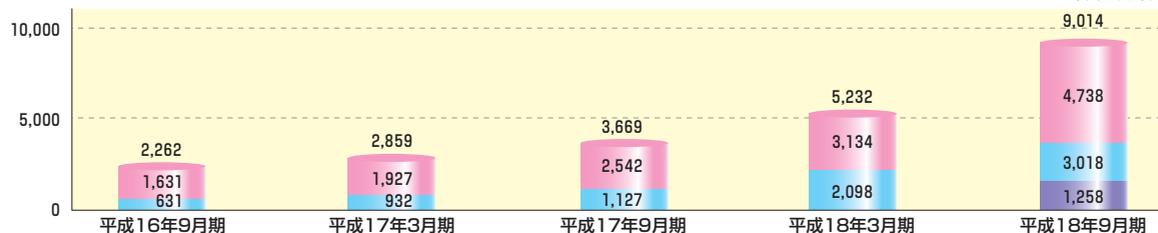
預り資産は、前年同期比で53億45百万円大幅増加して、90億14百万円となりました。

当行ではお客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするために、保険、公共債、投資信託などさまざまな金融商品のご提供を行っております。

■ 預り資産の推移

■ 保険 ■ 公共債 ■ 投資信託

(単位: 百万円)



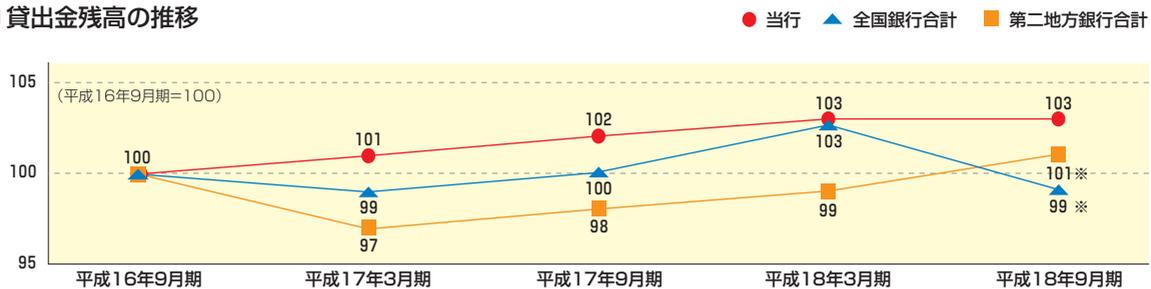
※投資信託は、平成18年9月期よりお取り扱いしています。

A 貸出金もお取引先の資金需要にお応えした結果、増加し続けています。

■ 貸出金

貸出金残高は、地元中小企業および個人のお取引先の資金需要に最大限お応えした結果、前年同期比で**39億円**増加して**2,879億円**となりました。

■ 貸出金残高の推移



● 貸出金残高

(単位:億円)

	平成16年9月期	平成17年3月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期
当行	2,783	2,811	2,840	2,875	2,879

※平成18年9月期の全国銀行合計、第二地方銀行合計の貸出金残高は全国銀行協会による速報値を表示しています。



Q 損益の状況は？

A コア業務純益・中間純利益は、過去最高になりました。

■ 損益状況

コア業務純益は、前年同期比で1億22百万円増加して、12億32百万円と中間期で過去最高になりました。

経常利益は、前年同期比で3億54百万円増加して、8億53百万円となりました。

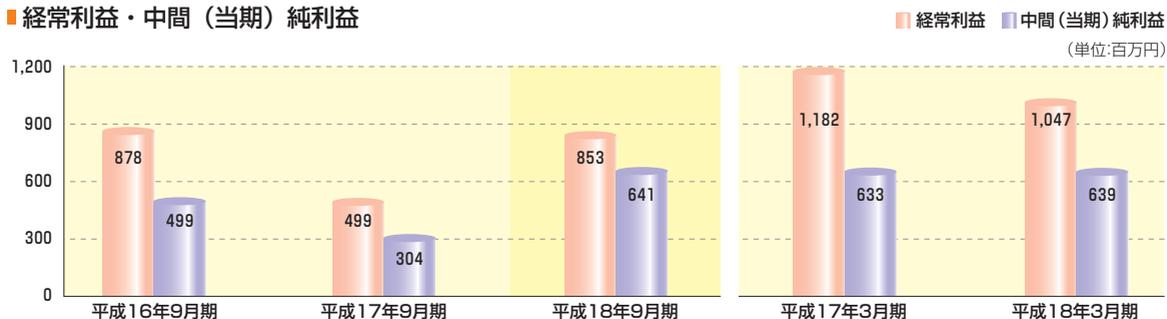
中間純利益は、前年同期比で3億37百万円増加して、6億41百万円と過去最高になりました。

当行は昭和26年創立以来55年間黒字決算を続けております。

■ コア業務純益



■ 経常利益・中間(当期)純利益



用語のご説明

■ コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での利益です。

■ 経常利益

銀行が本業を含めて普段行っている継続的な活動から得られる利益です。

■ 中間(当期)純利益

経常利益に特別損益と税金等を加減算した最終的な利益です。

Q 自己資本比率はどのくらいなの？

A 国内基準の2倍以上の9.21%です。

■ 自己資本比率

銀行の安全性・健全性を示す最も代表的な指標が自己資本比率です。

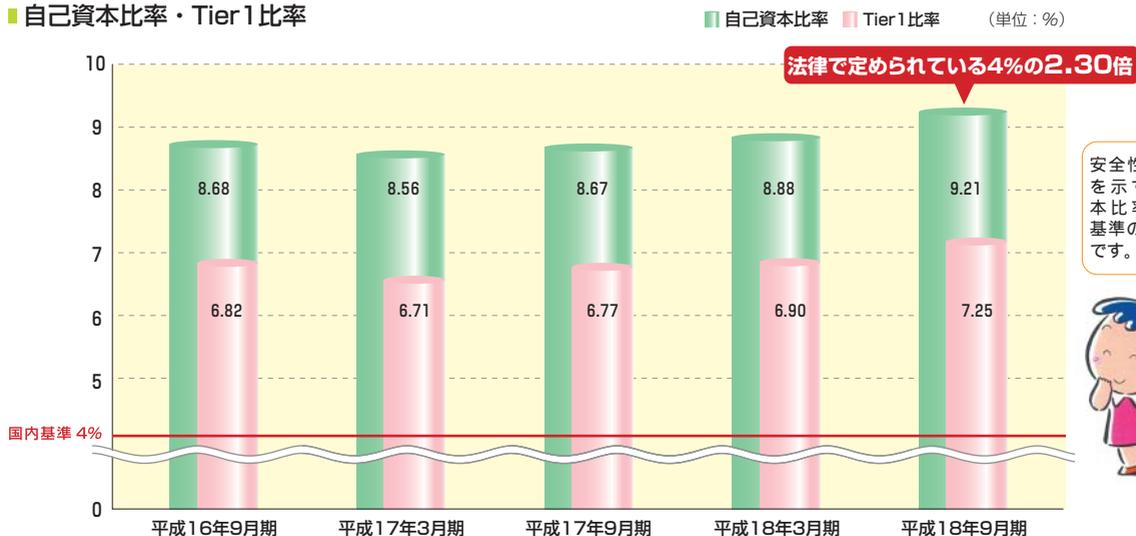
自己資本比率は国内のみで営業している銀行は国内基準の4%以上、海外に拠点を持つ銀行は国際統一基準の8%以上を保つ必要があり、当行は国内基準4%以上の自己資本比率の確保が求められております。

当行の**自己資本比率は9.21%**と**国内基準の2倍以上**あり、劣後ローン等の負債性調達手段に頼ることなく**高い安全性**を維持しております。

また、**Tier1比率も高く、高い健全性を維持しています。**

今後も収益力を高め内部留保を積み上げることにより、自己資本の充実を図ってまいります。

■ 自己資本比率・Tier1比率



用語のご説明

自己資本比率 信用リスク・アセット（総資産のうち、貸し倒れの可能性がある資産）等に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

Tier1比率 自己資本のうち、資本金及び剰余金などを基本的項目（Tier1）といい、これを分子として計算した自己資本比率がTier1比率です。

Q 不良債権の状況は？

A 厳格な資産査定と適切な保全・引当で備えは万全です。

■ 不良債権

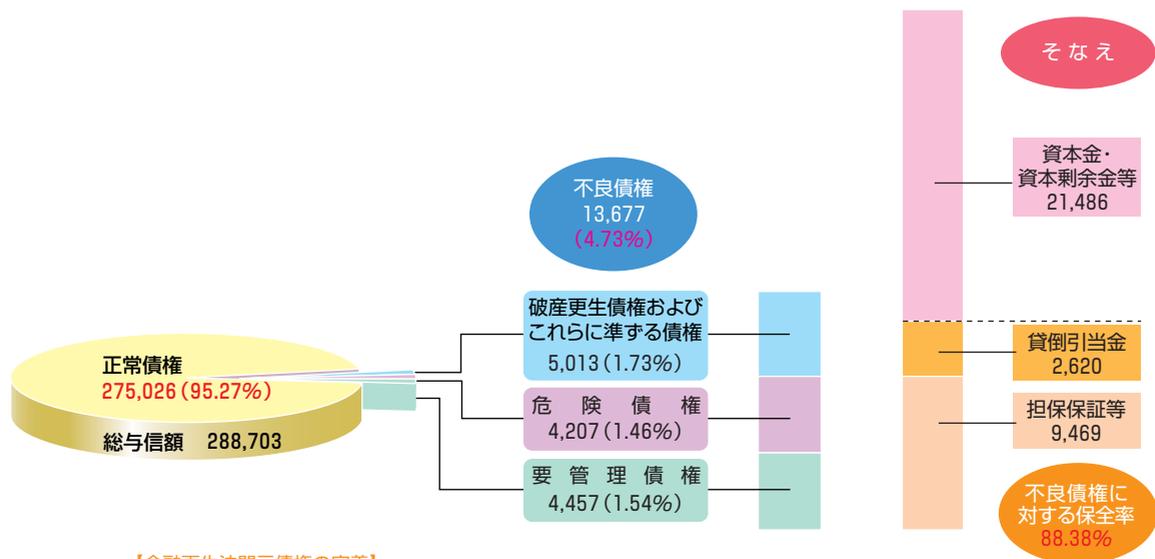
平成18年9月期の金融再生法開示基準による**正常債権は2,750億26百万円（95.27%）**、不良債権は136億77百万円（4.73%）となっております。

当行は不良債権問題について厳格に取組み、万一企業が倒産等した場合に対処できるように、貸倒引当金や担保保証等による**保全**を行っております。

また、貸倒引当金や担保保証等で保全されていない部分については、**そなえ**（資本金・資本剰余金等）があり十分対応可能です。

■ 金融再生法開示債権および保全・引当等の状況（平成18年9月期）

（単位：百万円）



【金融再生法開示債権の定義】

用語のご説明

破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権。

危険債権

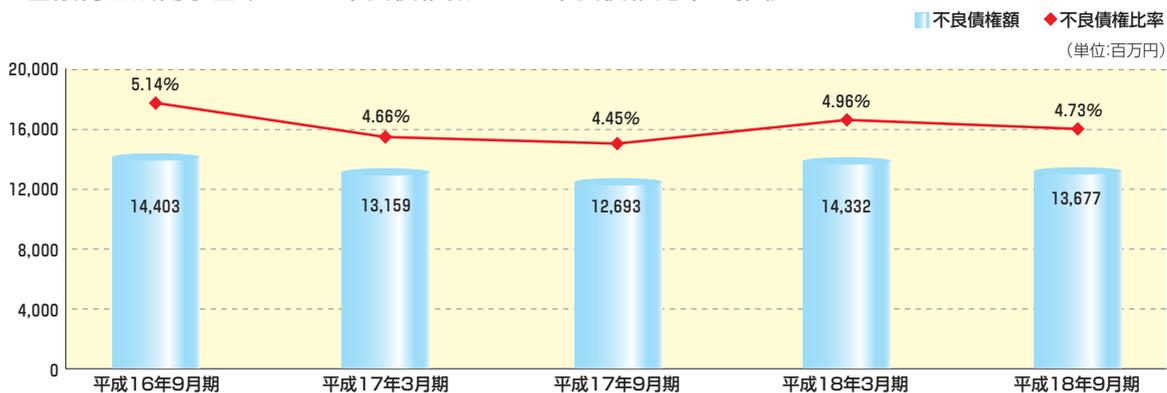
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。

金融再生法開示基準による当行の不良債権額は、前年同期比で9億84百万円増加、不良債権比率は0.28%増加、前期比で**不良債権額は6億55百万円減少**、**不良債権比率は0.23%減少**となりました。

■ 金融再生法開示基準による不良債権額および不良債権比率の推移



平成18年9月期の金融再生法開示債権136億77百万円のうち、120億89百万円は貸倒引当金や担保保証等でカバーしており、**保全率は88.38%と十分な備えを行っています**。

また、貸倒引当金や担保保証等で保全されていない部分の15億88百万円については、**そなえ(資本金・資本剰余金等)が214億86百万円あり、十分対応可能です**。

■ 金融再生法開示債権の保全内訳 (平成18年9月期)

(単位:百万円)

平成18年9月30日	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	5,013	4,207	4,457	13,677
担保保証等による額 (B)	3,821	3,478	2,169	9,469
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	1,192	568	859	2,620
保全額 (D=B+C)	5,013	4,047	3,029	12,089
開示額に対する保全率 (D÷A)	100.00%	96.19%	67.96%	88.38%

Q 財務諸表は？

A おかげさまで当行は昭和26年創立以来55年間黒字決算を続けております。

● 中間貸借対照表

(平成18年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	9,551	預 金	360,482
コールローン	12,500	譲渡性預金	3,305
買入金銭債権	158	その他負債	1,616
商品有価証券	182	退職給付引当金	1,263
有価証券	70,601	再評価に係る繰延税金負債	2,674
貸出金	287,909	支払承諾	554
外国為替	45	負債の部合計	369,897
その他資産	1,010	(純資産の部)	
有形固定資産	11,718	資本金	2,500
無形固定資産	262	資本剰余金	1,203
繰延税金資産	598	資本準備金	1,203
支払承諾見返	554	利益剰余金	11,893
貸倒引当金	△3,710	利益準備金	1,396
		その他利益剰余金	10,496
		固定資産圧縮積立金	497
		別途積立金	9,075
		繰越利益剰余金	924
		自己株式	△49
		(株主資本合計)	(15,547)
		その他有価証券評価差額金	2,086
		土地再評価差額金	3,852
		(評価・換算差額等合計)	(5,938)
		純資産の部合計	21,486
資産の部合計	391,383	負債及び純資産の部合計	391,383

● 中間損益計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	4,910
資金運用収益	4,470
(うち貸出金利息)	(3,915)
(うち有価証券利息配当金)	(542)
役務取引等収益	373
その他業務収益	4
その他経常収益	61
経常費用	4,056
資金調達費用	153
(うち預金利息)	(152)
役務取引等費用	369
営業経費	3,126
その他経常費用	407
経常利益	853
特別利益	151
特別損失	35
税引前中間純利益	969
法人税、住民税及び事業税	340
法人税等還付金	△275
法人税等調整額	264
中間純利益	641

● 中間株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本								自 己 株 式	株主資本合計
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余金計		
		資本準備金	利益準備金	固定資産 圧縮積立金	その他利益剰 余金 別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
平成18年3月31日残高	2,500	1,203	1,396	501	8,575	828	11,300	△44	14,960	
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当						△68	△68		△68	
役員賞与						△14	△14		△14	
中間純利益						641	641		641	
自己株式の取得								△5	△5	
自己株式の処分								0	0	
土地再評価差額金の取崩							33		33	
固定資産圧縮積立金の取崩				△4		4				
別途積立金の積立					500	△500				
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	△4	500	96	592	△5	587	
平成18年9月30日残高	2,500	1,203	1,396	497	9,075	924	11,893	△49	15,547	

	評価・換算差額等				純資産合計
	その 他有 価差 額金	土 地 再 評 価 差 額	評 価 ・ 換 算 差 額	評 価 ・ 換 算 差 額 合 計	
平成18年3月31日残高	2,651	3,886	6,537		21,497
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△68
役員賞与					△14
中間純利益					641
自己株式の取得					△5
自己株式の処分					0
土地再評価差額金の取崩					33
固定資産圧縮積立金の取崩					
別途積立金の積立					
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	△565	△33	△599		△599
中間会計期間中の変動額合計	△565	△33	△599		△11
平成18年9月30日残高	2,086	3,852	5,938		21,486

Q 地域貢献にはどのように取り組んでいるの？

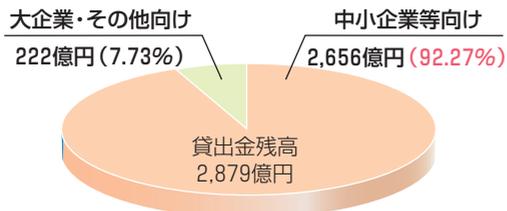
A 当行貸出金は、地元中小企業および個人のお取引先向け中心となっています。

(平成18年9月30日現在)

1 当行の中小企業等向け貸出金の比率

当行の中小企業等向け貸出金残高は2,656億円であり、貸出金残高全体に占める比率は**92.27%**となっております。

■ 中小企業等向け貸出金の比率(個人向け貸出金含む)

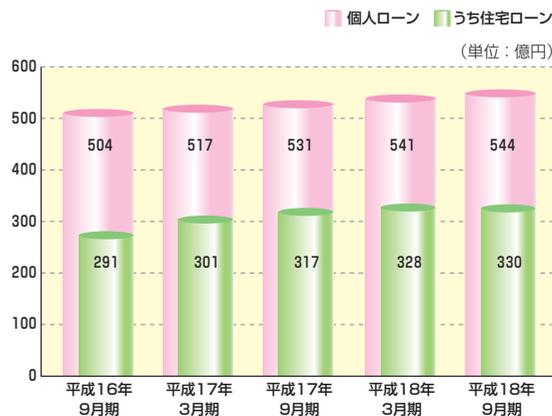


2 当行の個人ローンの状況

地域のお客さま向け個人ローンの残高は544億円(前年同期比2.44%増)と順調に増加しています。

また個人ローンのうち住宅ローンの貸出もお客さまの資金ニーズにお応えした結果、残高は330億円(前年同期比4.10%増)となっております。

■ 個人ローン残高の推移



A さまざまな融資を取扱っております。
(平成18年9月30日現在)

1 地方自治体の制度融資の取扱い

当行は福岡県や市町村の制度融資の取扱窓口として、中小企業の資金ニーズにお応えするための取組みを行っております。

制度融資のお取扱残高は9,334件406億円となっております。

2 担保・保証に過度に依存しない融資の取扱い

事業者の皆さまのニーズにすばやくお応えするために、中小企業、個人事業者向けビジネスローン『福中銀事業応援ローン』の取扱いをしております。

本商品は担保・保証人を必要とせず、白色申告者も対象となるのが特徴で、ご利用残高は1,863件52億円となっております。

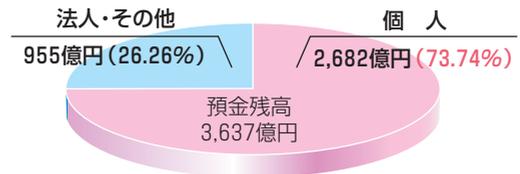
また福岡県信用保証協会と連携した担保を必要としない『福中銀スーパー事業応援ローン』も好評で、ご利用残高は1,164件102億円となっております。

A 当行預金は、個人のお客さまが中心となっています。
(平成18年9月30日現在)

1 当行の個人預金残高の比率

当行の個人預金残高は2,682億円であり、預金残高全体に占める比率は**73.74%**となっております。

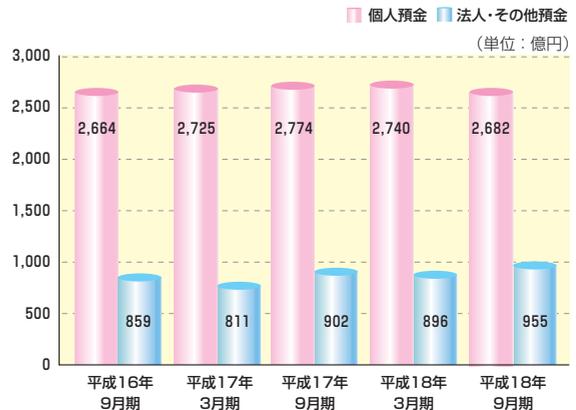
■ 個人預金残高の比率 (譲渡性預金を含む)



2 個人預金残高の状況

個人預金残高は2,682億円、法人・その他預金は955億円になりました。

■ 個人預金残高の推移 (譲渡性預金を含む)



A 地域との密着化も図っています。

1 お客さまからのご相談等の受付

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時）
但し、銀行休業日を除きます。

お客さまからのご相談等にお応えするため、下記の相談センターを設置しています。銀行業務に関してお困りのことやご要望がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

福中銀ふれあいプラザ

●融資相談センター

主な仕事

- 企業や個人のお客さま、さらに今後事業を始めようとお考えの方などの借入れに関する相談や公的機関等への仲介
- 創業・新事業支援
- 経営改善等についての相談・支援

●お客さまサービスセンター

主な仕事

- 地域・お客さまからの経営・税務等の各種相談
- 事業承継・M&A、ビジネスマッチング等の相談・支援
- 経営者クラブや各種セミナーへの参加お申込等

●保険・投信窓販センター

主な仕事

- 生命保険銀行窓販業務に関する相談
- 損害保険銀行窓販業務に関する相談
- 投資信託に関する相談
- その他資産運用に関する相談

中・小企業経営支援

・お問い合わせ先 融資統括部内
TEL 092-751-4449

主な仕事

- 事業再生、経営改善支援
- 創業・新事業支援
- 福岡県中小企業再生支援協議会の活用について協力支援

2 ふくちゅうぎん経営者倶楽部「経営塾21」や、九州金融情報ネットワーク「QFネット」で、経営者の皆さまをサポート

「経営塾21」は、中・小企業の次代を担う経営者の方々に、充実した情報や経営アドバイス等のご提供、お取引先相互の情報交換、経営研究等の機会のご提供を行い、事業の発展のお手伝いをさせていただきます。

「QFネット」は、九州地区第二地方銀行8行による企業経営問題の解決支援組織です。ビジネスマッチングやM&A等、取引先が抱える経営課題に関する情報を随時交換することによって、地域社会への貢献並びに地元企業の発展や存続の支援等を図り、地域経済の活性化を目指しています。

・お問い合わせ先 福中銀ふれあいプラザ

福中銀ふれあいプラザ

- ・所在地 福岡市中央区大名二丁目12番1号
当行本店 2階
(地下鉄赤坂駅3番出口より天神方面へ徒歩1分 中央区役所斜め前)
- ・営業時間 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
但し、銀行休業日を除きます。
- ・お問い合わせ先 TEL092-751-4667



3 「講演会」「交歓会」の開催による地域の皆さまへの経済活動の促進と交流に貢献

毎年1月には著名人、有識者をお招きし、政治・経済・社会等の幅広いテーマで講演会を行っています。また、地域の企業や個人の皆さまの交流に貢献するために交歓会も開催しております。

- 開催日 平成18年1月20日(金)
- テーマ 「福祉はわが家から」
～気配り、目配り、思いやり～
- 講師 西川きよし氏(タレント・元参議院議員)



4 献血への参加

私たちは平成3年に創立40周年を記念して社会のお役に立てることとして献血活動を始めました。

毎年6月の創立記念月を『献血の月』とし、福岡県赤十字血液センターにおいて行員による成分献血を実施しています。



5 本店アトリウムの開放

当行は、地域の生活文化をサポートし、つねに皆さまのお役に立てることを願っております。

その一環として、当行本店にアトリウムを設け、皆さまのくつろぎのひとときを演出する空間として、またコンサートや展示会などのアトスペースとして無料で開放しております。

どうぞ皆さまの個性と感性を伝えるギャラリーとしてご活用下さい。

催物の開催予定はホームページでご紹介しております。



6 地域行事への参加

本店・支店共に地域行事への参加を通して、地域の皆さまとのふれあいやコミュニケーションを深めています。



A CD・ATMを安全・便利にご利用いただけるよう取り組んでいます。

1 CD・ATMを利用した犯罪被害防止策の実施

当行は、地域の皆さまにキャッシュカードを安全にご利用いただけるよう、セキュリティの強化に努めております。

- ATMでの1日1口座あたりのご利用限度額を現金お支払で50万円、お振込で200万円としています。
- お客さまご自身がATMで1日1口座あたりのご利用限度額や暗証番号の変更ができます。また、営業店窓口での変更もできます。
- 暗証番号変更時、生年月日等類推され易い暗証番号の登録を制限しています。
- のぞき見防止のため、ATMタッチパネルに遮光フィルターを貼付し、後方確認のためのミラーを設置しました。

2 CD・ATMの提携によるサービスのご提供

当行は、皆さまが便利にご利用いただけるように、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本ファミリー銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行とCD・ATMの手数料無料提携を行っておりますので、提携先のCD・ATMもご利用下さい。

無料で利用できるお時間は、銀行休業日を除く月曜日から金曜日の午前8時45分～午後6時です。

- ※ お引き出しについては、個人のキャッシュカード（ローンカードを含む）のみご利用可能で、通帳でのお引き出しはできません。
- ※ 自動サービスコーナーによって、ご利用可能な曜日や時間が異なります。
- ※ 共同コーナーには手数料無料化の対象とならないコーナーがあります。
- ※ 銀行休業日や延長時間帯におけるご利用の際には、各行所定の時間外手数料が必要となります。

カード・通帳・印鑑等をなくされた時のご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
(電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください)
- 銀行休業日及び上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター

TEL 092-751-5036



(皆さまのお役に立つために)

A 皆さまのお役に立つ商品をご案内いたします。

1 多様化するお客さまの“資産運用”ニーズに対応する「投資信託」

当行は、地域金融機関として、多様化するお客さまの“資産運用”ニーズに対応するため、平成18年6月1日より投資信託の取扱いを開始いたしました。

お取扱商品

4商品（追加型株式投資信託）6タイプをご用意しております。

- 株式インデックス225
- 好配当日本株式オープン【愛称：好配当ニッポン】
- ダイワ外債ソブリン・オープン（毎月分配型）
- ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ（奇数月分配型）【愛称：ミルフィーユ】
安定重視型、インカム重視型、成長重視型

投資信託のメリット

- 少ない金額から購入可能。（多くのお客様から集めて共同で投資ができます）
- 投資先を分散してリスクを抑えた運用を目指すことができます。
- お客様（投資家）に代わって、専門家（投資会社）が運用します。

•お問い合わせ先 福中銀ふれあいプラザ

TEL 092-751-4667

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
但し、銀行休業日を除きます）

2 中小企業・個人事業者の皆さまの円滑な資金調達にすばやくお応えする「福中銀事業応援ローン」

「福中銀事業応援ローン」は、運転資金・設備資金・他行でお借入の事業資金の借換えおよび一本化等、地域の皆さまの幅広いニーズにお応えする商品です。

担保・保証人を必要とせず、貸借対照表を持たない事業者も対象となるのが特徴です。（但し、法人の場合は代表者を保証人とします。）

福中銀事業応援ローンここがうれしい!

1 借りやすい 担保不要	2 ラクラク 保証人不要	3 ゆとりの返済 最長5年
4 しっかり応援融資 100～1,000万円まで	5 かんたん! スピード審査	6 幅広いご融資 青色・白色 申告の方OK!

法人の場合は、代表者の方を保証人とさせていただきます。

•お問い合わせ先 各お取引店の融資窓口もしくは 福中銀ふれあいプラザ

TEL 092-751-4667

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
但し、銀行休業日を除きます）

Q 紛失・変更手続きはどうしたらいいの？

A よくあるご質問にお答えします。

Q1 通帳・キャッシュカード・印鑑を紛失した時はどうしたらいいの？

A すぐにお取引店または当行本支店にお電話ください。盗難の場合は、警察にもお届けください。

ご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
(電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください)
- 銀行休業日及び上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター
TEL 092-751-5036

電話でのお届けは仮のお届けです。
書面での正式なお届けが必要ですので、お早めに次のものをご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

●通帳やキャッシュカードを紛失された時

お届け印



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



- ※キャッシュカードを紛失された時のみ通帳も必要です。
- ※通帳やキャッシュカードの再発行には、手数料が必要です。
- ※通帳またはキャッシュカードを発見された時は、発見された通帳またはキャッシュカードとお届け印、および本人確認資料をご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

●印鑑を紛失された時

通帳



今後で使用予定の印鑑



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



- ※正式なお届け出前に印鑑を発見された時は、お届け印、通帳またはキャッシュカードおよび本人確認資料をご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

Q2 住所や届出印鑑を変更したい時は？

A 次のものをご用意いただき、お近くの福岡中央銀行窓口にお申し出ください。

●住所を変更したい時

通帳



お届け印



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



●印鑑を変更したい時

通帳



お届け印



今後で使用予定の印鑑



※ただし、当座・融資のお取引をいただいているお客さまは、別途書類が必要となりますので、お取引店にお問い合わせください。

Q3 暗証番号を変更したい時は？

A キャッシュカードをご用意いただき、当行のATMで変更することができます。

当行窓口でキャッシュカードとお届け印、本人確認資料をご用意いただき変更することもできます。

ご注意ください!!

- ☆ 暗証番号は類推されやすい番号を避け、定期的に変更されることをお勧めします。
- ☆ 銀行員などが店舗外や電話等でキャッシュカードの暗証番号をお尋ねすることはありませんが、他人に知られないよう、十分にご注意ください。

役員・株式のご案内

● 役員のご案内 ●

(平成18年9月30日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	田 中 克 佳
専務取締役 (代表取締役)	新 宮 五 三
常務取締役	古 賀 正 三
取 締 役	今 村 七 生
取 締 役	中 村 満 雄
取 締 役	梅 津 薫
取 締 役	重 富 隆 信
常任監査役 (常勤)	生 熊 健
監査役 (常勤)	福 澤 秀 年
監査役 (非常勤)	今 村 毅
監査役 (非常勤)	進 谷 庸 助
監査役 (非常勤)	田 中 優 次

(注) 監査役今村毅、進谷庸助および田中優次は、社外監査役です。

● 株式のご案内 ●

1. 決 算 日 3月31日
2. 定時株主総会 6月
3. 期 末 配 当 株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払します。
4. 中 間 配 当 取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払します。
5. 基 準 日 定時株主総会の基準日については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
6. 上場証券取引所 福岡
7. 証 券 コー ド 8540
8. 株式事務取扱場所・取次所
 - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - 同 連 絡 先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
 - 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社
全国各支店
9. 公 告 方 法 電子公告により当行ホームページに掲載します。
(<http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

店舗・ATMのご案内

(平成18年12月1日現在)

店舗の名称および所在地

[金融機関コード 0582] 店舗コード

● 土曜日・日曜日・祝日ATM稼働店

001	●	本店	営業部	〒810-0041	福岡市中央区大名二丁目12-1	092-751-4433
002		清川	支店	〒810-0005	福岡市中央区清川一丁目12-3	092-521-0531
031	●	尾尾	支店	〒810-0014	福岡市中央区平尾二丁目19-22	092-531-4635
005	●	馬出	支店	〒812-0054	福岡市東区馬出二丁目22-21	092-651-6961
027	●	香椎	支店	〒813-0013	福岡市東区香椎駅前二丁目9-6	092-681-2136
004	●	博多	支店	〒812-0026	福岡市博多区上川端町3-4	092-281-5107
026	●	博多駅	支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目1-25	092-411-7461
042	●	博多駅前	支店	〒816-0093	福岡市博多区那珂一丁目22-3	092-451-2851
006	●	筑紫	支店	〒816-0078	福岡市博多区竹丘町二丁目1-5	092-581-3731
003	●	西新	支店	〒814-0002	福岡市早良区西新五丁目1-38	092-821-3061
039		見前	出張所	〒814-0015	福岡市早良区室見四丁目24-21	092-851-4344
032	●	原新	支店	〒814-0022	福岡市早良区原六丁目21-31	092-851-6261
036	●	室見	支店	〒819-0025	福岡市西区石丸一丁目12-23	092-882-0711
030	●	長尾	支店	〒814-0123	福岡市城南区長尾一丁目17-10	092-861-0211
033	●	七隈	支店	〒814-0133	福岡市城南区七隈三丁目1-24	092-862-3871
016	●	野間	支店	〒815-0041	福岡市南区野間一丁目11-31	092-541-4534
028	●	大橋	支店	〒815-0033	福岡市南区大橋三丁目27-18	092-541-6365
037	●	橋原	支店	〒811-1355	福岡市南区橋原一丁目33-31	092-512-8911
038	●	鶴田	支店	〒811-1352	福岡市南区鶴田二丁目22-5	092-565-7398
045	●	前田	支店	〒819-1116	筑紫野市前原中央一丁目5-1	092-324-4371
029	●	日市	支店	〒818-0072	筑紫野市日市中央五丁目8-3	092-922-6731
035	●	須玖	支店	〒816-0863	春日市須玖南一丁目113	092-572-1321
040	●	利	支店	〒816-0952	大野城市下大利一丁目1-13	092-581-6051
041	●	ひまわり	出張所	〒818-0134	太宰府市大字大佐野948-12	092-925-9771
034	●	自由ヶ丘	支店	〒811-4163	宗像市大字自由ヶ丘五丁目975-11	0940-33-3321
046	●	志免	支店	〒811-2207	糟屋郡志免町南里四丁目11-7	092-937-1211
007	●	小倉	支店	〒803-0812	北九州市小倉北区室町二丁目6-1	093-561-4985
008		門司	支店	〒801-0856	北九州市門司区浜町2-18	093-321-3861
009		戸畑	支店	〒804-0082	北九州市戸畑区新池二丁目10-11	093-871-4524
025	●	黒崎	支店	〒806-0026	北九州市八幡西区西神原町2-30	093-631-4538
011		若松	支店	〒808-0034	北九州市若松区本町二丁目3-28	093-761-4723
017	●	行橋	支店	〒824-0003	行橋市大橋三丁目6-7	0930-23-2381
013	●	飯塚	支店	〒820-0068	飯塚市片島一丁目1-14	0948-22-2380
014		直方	支店	〒822-0017	直方市殿町10-31	0949-22-2110
015		田川	支店	〒825-0012	田川市日の出町3-5	0947-42-3111
020		久留米	支店	〒830-0017	久留米市日吉町5-43	0942-33-7391
043		久留米	支店	〒839-0809	久留米市東合川二丁目3-7	0942-43-1091
021		大牟田	支店	〒836-0842	大牟田市有明町二丁目1-1	0944-52-4246
022		大川	支店	〒831-0016	大川市大字酒見字中原130-1	0944-87-3200
023		八女	支店	〒834-0063	八女市本村425-237	0943-23-2181
024		甘木	支店	〒838-0068	朝倉市甘木1818-1	0946-22-3900

店舗外自動サービスコーナー

● 土曜日・日曜日・祝日稼働店

<福岡市中央区>	●	ソラリアプラザ地下1階 (CD)	<前原市>	前原市役所 (CD)
	●	西鉄福岡駅2階コンコース北側 (ATM)	<糟屋郡>	志免町役場 (CD)
		福岡市鮮魚市場会館1階 (CD)	<行橋市>	行橋市役所 (CD)
<福岡市博多区>	●	地下鉄博多駅筑紫口地下1階コンコース (ATM)	<直方市>	直方市役所 (CD) (2台)
		福岡合同庁舎1階 (CD)	<田川市>	田川市役所 (CD) (2台)
		千鳥橋病院内 (ATM)		田川市立病院 (CD) (2台)
<福岡市城南区>	●	南片江テングッド片江ビル1階 (ATM)	<大牟田市>	大牟田市役所 (CD)
<春日市>		春日市役所 (CD)	<朝倉市>	朝倉市役所 (CD)
<筑紫野市>		筑紫野市役所 (CD)		



この街でいっしょに

福岡中央銀行

福岡中央銀行 総合企画部

〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目12番1号 TEL 092-751-4431 (代)

ホームページ <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>